

平成 26 年度学園運営方針

凌風学園
学園長 手塚 仁

学園教育目標

自らを高め 共に生き 希望を抱いて 未来を拓く

めざす子ども像

- 知的好奇心をもち、素晴らしいものに素直に感動できる、豊かな感性をもつ子
- 向上心をもち、「わかる」「できる」を次につなげようとする子
- 自分を大切にし、他の人のよさや違いを認め、共に生きる子
- 将来の自分を想い、夢をもち、その実現に向け、ひたむきに努力する子

重点指導方針

- 学びの作法の習得
 - 高い志を実現する自律的な学習と互いに高め合う学習集団の育成
 - 自らを高める学習の目的の設定方法、学習方法の獲得、授業規律の確立を行う。
- 言語活動の充実
 - ことばで考え、表現し、伝える個と集団の育成
 - 語彙を増やす読書活動の場面、考えをまとめる文章表現の場面、意見を述べる場面の設定を行い、思考力・判断力・表現力の伸張を図る。
- キャリア形成支援
 - 自らを社会の一員としてとらえ、積極的に参画する個と集団の育成
 - 卒業までに一定の社会性を身につけ、生涯にわたって学習し続ける基礎の確立を図る。

経営方針

—「チーム凌風」としてのシステムの確立を図る

- ① めざす子ども像及び学園教育目標を全教職員が共通認識し、一貫した指導計画のもと、子どもの9年間の学びと育ちをつなぎ、心身の発達・発育の状況に適応した質の高い指導を行う。
- ② これまでの実践で培ってきた専門性を全体で共有・活用し、教職員相互に学びあいながら、校種を超えた新しい学校文化を創造する。
- ③ たえず教育効果の検証・改善に努めるとともに、京都市の小中一貫教育の先進モデル校として積極的に研究開発に取り組み、自校、さらには京都市教育の一層の充実・発展に寄与する。
- ④ 学園関係者の自校教育への理解・信頼を高め。共に子どもを育むための活動への協力・支援を得て教育の充実・発展を図るため、学園情報の積極的公開や学校評価の取組を一層推進する。
- ⑤ 家庭・関係教育機関とも連携し、就学前後の教育の充実に努める。
- ⑥ 校務支援システムによる、校務の効率化を図る。
- ⑦ 危機管理マニュアルの周知徹底し、防災教育・防災管理の充実を図る。